

甲佐町議会だより



清流

第161号

平成29年6月1日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 緒方 哲哉

3月定例会

緑川水防演習（5月14日・安津橋上流側）



専決処分の承認・条例・工事請負契約の変更	
平成28年度一般会計及び特別会計補正予算	
平成29年度一般会計及び特別会計予算	②～④
Q & A そここが知りたい	⑤
一般質問5人 ここが聞きたい	⑥～⑩
子ども議会	⑪～⑮
常任委員会等の各委員の選任、 町民の声、第1回臨時会、編集後記	⑮～⑰

3月定例会

3月定例会は、10日に開会し、15日まで6日間の審議を行った。

案件は専決処分の承認案件1件、条例案件8件、工事請負契約の変更案件3件、平成28年度一般会計及び特別会計補正予算、平成29年度一般会計及

び特別会計予算、その他の案件が上程され、工事請負契約の変更一件は撤回され（会期中に修正し再度上程され可決）他の案件は全て原案どおり可決した。なお、一般質問には、5人の議員が登壇し、町政全般について質問した。

専決関係

直しに伴う改正を全会一致で可決した。

いて固定資産税を免除する等の条例の制定を全会一致で可決した。

承認第1号 専決処分の報告及び承認について

承認第1号

平成28年度甲佐町一般会計補正予算（第8号）が議会へ報告され承認した。

議案第2号

甲佐町税条例等の一部を改正する条例の制定について

消費税率の引上げ時期変更に伴い、法人税割の標準税率等の引下げ時期を「平成31年10月1日以降に開始する事業年度」に変更する改正等を全会一致で可決した。

議案第4号

甲佐町避難行動要支援者名簿に関する条例の制定について

災害基本法の規定に基づき「避難行動要支援者名簿」の作成・提供を円滑にするとともに、災害時の迅速な避難支援等の実施を支援するための条例の制定を全会一致で可決した。

議案第6号

甲佐町子ども医療費助成に関する条例の一部改正について

平成29年4月診療分から熊本県内保険医療機関における子ども医療費の一部負担金の現物給付化を行う改正を全会一致で可決した。

議案第7号

甲佐町介護保険条例の一部改正について

介護保険法の改正に伴い、所得の少ない被保険者の保険料の減額を平成29年度まで延長する改正を全会一致で可決した。

条例関係

○可決された議案の主な内容は次のとおり。

議案第1号

甲佐町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告により、扶養手当や介護休暇等の見

議案第3号

平成28年熊本地震に係る被災家屋等に対する固定資産税の免除及び特例に関する条例の制定について

公費解体家屋の平成28年中の解体未完了分につ

議案第5号

甲佐町課設置条例の一部改正について

事務分掌の見直しにより「産業振興課」を「農政課」に改め、「観光、



リサイクル推進員を法律の規定する廃棄物減量等推進員として委嘱し、廃棄物の減量、分別、リサイクル推進等の活動について円滑化を図るための改正を全会一致で可決した。



その他の案件

議案第9号

工事請負契約の変更
について（鮎緑改修
工事）

総合保健福祉センター
（鮎緑）改修工事におい
て、206万7134円
を増額し、5865万9
134円とする契約変更
を全会一致で可決した。



フィットネスセンター開所式にて（4/4）

議案第10号

工事請負契約の変更
について（龍野小増
築等工事）

龍野小学校校舎増築等
工事の変更工期について

記載不備のため、議案取
り下げ（撤回）となる。

（※修正後、議案第20号
で再度上程）

予算関係

議案第11号

平成28年度甲佐町一
般会計補正予算（第
9号）

20億4255万900
0円を減額し、歳入歳出
予算の総額を歳入歳出そ
れぞれ157億6684
万円とする補正を全会一
致で可決した。

議案第12号

平成28年度甲佐町国
民健康保険特別会計
補正予算（第4号）

3104万5000円
を追加し、歳入歳出予算
の総額を歳入歳出それぞ
れ20億9053万500
0円とする補正を全会一
致で可決した。

議案第13号

平成28年度甲佐町介
護保険特別会計補正
予算（第3号）

659万3000円を
減額し、歳入歳出予算の
総額を歳入歳出それぞれ
15億1305万7000
円とする補正を全会一致
で可決した。

議案第14号

平成28年度甲佐町後
期高齢者医療特別会
計補正予算（第2号）

1857万1000円
を減額し、歳入歳出予算
の総額を歳入歳出それぞ
れ1億2884万100
0円とする補正を全会一
致で可決した。

議案第15号

平成29年度甲佐町一
般会計予算

平成29年度一般会計
予算の内容について
は、次のページをご
覧ください。

議案第16号

平成29年度甲佐町国
民健康保険特別会計
予算

前年より、5055万
1000円増の総額19億
6980万3000円と
する予算を全会一致で可
決した。

議案第17号

平成29年度甲佐町介
護保険特別会計予算

前年より、1955万
5000円増の総額14億
5232万4000円と
する予算を全会一致で可
決した。

議案第18号

平成29年度甲佐町後
期高齢者医療特別会
計予算

前年より、62万円減の
総額1億4301万70
00円とする予算を全会
一致で可決した。

議案第19号

平成29年度甲佐町水
道事業会計予算

収益的収入及び支出の
総額を1億4559万1
000円とする予算を全
会一致で可決した。

追加議案

議案第20号

工事請負契約の変更
について（龍野小増
築等工事）

龍野小学校増築等工事
において、1196万3
513円を増額し、3億
356万3513円とす

る契約変更を全会一致で
可決した。

議案第21号

工事請負契約の変更
について（熊本地震
による乙女小復旧工
事）

熊本地震による乙女小
学校復旧工事において、
709万208円を増額
し、1億5019万20
8円とする契約変更を全
会一致で可決した。



復旧工事を終えた乙女小学校

平成29年度 一般会計予算

109億5,676万7千円を可決

(単位：千円)

(単位：千円)

歳入	29年度	28年度	前年度比
町税	779,775	850,769	91.7%
地方譲与税	56,001	55,001	101.8%
利子割交付金など	216,300	213,600	101.3%
地方交付税	2,177,325	2,100,000	103.7%
分担金及び交付金	111,352	104,619	106.4%
使用料及び手数料	35,905	37,600	95.5%
国庫支出金	3,581,375	1,155,364	310.0%
県支出金	1,092,274	549,357	198.8%
財産収入など	8,224	10,273	80.1%
繰入金	528,289	426,427	123.9%
繰越金	50,000	50,000	100.0%
諸収入	34,547	43,151	80.1%
町債	2,285,400	768,300	297.5%
計	10,956,767	6,364,461	172.2%

歳出	29年度	28年度	前年度比
議会費	79,840	80,453	99.2%
総務費	1,814,109	823,966	220.2%
民生費	2,010,437	1,798,324	111.8%
衛生費	2,367,686	621,345	381.1%
農林水産業費	405,344	300,232	135.0%
商工費	48,728	40,214	121.2%
土木費	1,016,951	937,933	108.4%
消防費	349,393	241,535	144.7%
教育費	636,758	663,645	95.9%
災害復旧費	1,403,921	4	35,098,025%
公債費	793,599	846,809	93.7%
予備費	30,001	10,001	300.0%
計	10,956,767	6,364,461	172.2%

一般会計当初予算

一般会計予算は、109億5676万7000円で、前年度比172.2%、45億9230万6000円の増となった。

増額の主な要因は、昨年の地震及び豪雨による災害復旧関連費である。

内容は災害廃棄物収集運搬処理事業、災害公営住宅整備事業、子育て支援住宅建設事業、宅地液状化防止事業、公共土木並びに農林水産施設災害復旧事業等である。

この当初予算を、賛成10反対1で可決した。

反対討論

佐野 安春 議員

復興のための災害復旧費など多くの点で同意はできるが、地域改善対策費の補助金については、特別措置法も終焉し、運動体組織自身が自主財源を基本とするとしている。このようなことで補助金のあり方は検討が必要であると考えます。

賛成討論

本田 新 議員

執行部と議会が議場での対話を通じ、議員の意見を尊重されて予算をつくられている。甲佐町民のため、町の復興のために役立つもの信じ、本予算に賛成する。

そこが知りたい Q&A



宅地被災状況（芝原地内）

3月定例会 質疑から

宅地復旧補助金

Q 熊本地震関連連費と計上しているが、どういふところに使用されるのか。

A 今回の熊本地震で被災された宅地の復旧補助に充てる補助金で平成29年度の4月から受付を開始し対応していく。復旧にかかった費用から50万円を引いた残りの3分の2が補助額で上限額が1000万円。

甲佐町地域支え合いセンター事業

Q 事業の目的と活動内容は。

A 熊本地震後に発足した組織で被災した方々が生活再建に向け安心し、日常が送れるよう見守りや生活支援、地域交流の促進などを支援する。

町営住宅の建替え

Q 上揚町営住宅の建替えの時期は。

A 平成29年度から建設予定であったが熊本地震の影響により平成30年度から計画している。



甲佐町地域支え合いセンター（憩いの家駐車場）

安津橋総合運動公園

Q 来年度にテニスコート8面を整備するとあるが、最終的な完成年度は。

A 平成30年度以降には、多目的広場、サッカーコート、野球場、ソフトボール場、ジョギングコースなど、平成32年度までに全体的な整備を計画している。



上揚住宅

一般質問と答弁 ここが聞きたい 一般質問

水害常襲地帯への解決策は

町長 ハード・ソフト両面から問題に取り組む



中村 幸男 議員



H28.6.21水害状況 (甲佐郵便局付近)

志戸岡建設課長

平成23年度に内水調査

問 水害常襲地帯、特に緑町、岩下一、二区辺りは毎年水害に遭っているような状況で以前質問したたが、何か取組みはされたか。

奥名町長

問 平成29年度に内水対策の調査をした後、解決策等の考えをお聞きしたい。

答 行っており、それを基に平成29年度具体的な対策の整備検討、計画的な対策を行うため800万円の内水対策調査費を予算計上し、調査に取り組んでいきたい。

答 内水対策に関し、ハード面として、国会議員や国土交通省の熊本河川国道事務所にも毎年要望を行っており、国・県・町

がそれぞれ取り組むべきことをやった上で、具体的な工法、対処方法について具体性を持たせていきたい。また、ソフト面として自助・共助・公助の考えのもと自主防災組織も全行政区に出来ればと思っております。

ういう両方の側面からこの問題に取り組んでいきたい。

ろくじ館の運営について

問 ろくじ館の運営について売り上げ状況はどうなっているか。

答 また、生産物の町内と町外の比率はどのようになっているか。地元の農産物、加工品を優先的にやるべきではないか。

岡本産業振興課長

答 売り上げについては、全体的な傾向としては毎年増加傾向にある。

町内の産物と町外の物の比率は平成28年度で総売上の1割程度が町外の物品となっている。基本的にろくじ館の販売については、甲佐町の農産物及び加工品を販売していただくことがメインと考えている。

ふるさと納税の取り組みについて

問 4月1日より取り組まれるふるさと納税の状況を聞きたい。

内山総務課長

答 インターネットでするさと寄付の手続きができる「ポータルサイト」で返礼品の選択やクレジットによる決済ができるようになる。

返礼品もこうさんもん認定商品を始め42品目をそろえ、寄付金の額の区分については、1万円から2万円未満で一品、2万円から3万円未満で二品、3万円から5万円未満で三品、そして5万円

10マイルロードレース大会について

問 以前、12月の第2日曜日に開催していたが、実業団の関係かどうか分からぬが日程を何度か変更している。どう考えているか。

吉岡社会教育課長

答 実業団も出ていただくことは10マイルを盛り上げる面では非常にいいことである。また、ほかに中学生・高校生のランナーの育成とかの面にも配慮していかなければならないと思っております。



ふるさと寄付金返礼品カタログ

一般質問

田口橋、なぜ歩道ができなかったのか

町長 災害復旧工事は、原形復旧



宮川 安明 議員



田口橋全景

問 今までの活動が実を結び、平成28年度から改修計画の着工が決まっていた田口橋について、熊本地震発生で災害関連工事となったのは。

奥名町長

田口橋の建設は昭和43年10月、約50年経っている。

熊本地震により橋桁の移動、橋台、橋脚が被災

し、現在通行止めの状況であり、この間、県では被害の詳細な調査、設計が検討された。

河川管理者の国交省、道路管理者の県と町の三者で下部工の経過年数の問題、辺場バス利用者（通勤・通学）の問題、仮設橋設置の必要性等の対応策を協議し、災害を機に全面架け替えの相談を行った。

国・県では町の考え方に對して最大限に對応していただいたと思っております。

復旧の工法については、東日本大震災と同じ取り扱いで、下部工は災害復旧工事（原形復旧）でしか対応できない。

上部工は災害関連事業として、現在の幅員4・5メートルから7・0メートルに拡張される。

工事の期間は3月6日、住民の方々を対象に説明会が行われたが、平成31年の3月末の工事完了を目標に進められる。

災害発生前の計画では、工事期間がおよそ5年間

をめどで進んでいたのので、随分短縮となる。

今後、緑川右岸（白旗側）の交差点の問題等、町としての考え方、要望等はしっかりと県に伝えて、早期復旧に向けての取り組みを県と協力してやっていきたい。

問 なぜ、歩道が設置できなかったのか。

フル規格で要望し続けたらどうなっていたか。

奥名町長

田口橋の改修について、これまでの経緯を改めて

ご紹介する必要があると思ふ。

第一の段階として、当時は町道に架かる橋だったので、まずは田口橋の路線を県道に昇格させることから始まった。

当時の関係者の努力が実って平成9年に当時、県道白旗御船線を延伸する形で、町道田口中山線が県道に昇格した。

その後は毎年、小川御船間の県道整備の期成会で要望活動など様々な運動を展開してきたが、昇格後は、あまり期間も経っていない、投資効果

の問題、交通量の問題、一般県道としての格付け等から前向きな回答がいただけなかったのが現実である。

また、地元の県議の先生方の度重なる県議会の一般質問での御提言、町としても河川管理者の国交省に對して、田口橋の重要性を訴えながら、改修工事に当たった際の障害を取り除く努力もしてきた。

当然、歩道付きの整備を終始要望していたが、県の行政改革、県の財政状況等で10億円以上の予算については、凍結されるということ、現実的にはそこだけを追求していつても実現性が薄いと、いうように判断した。

その他に

- ・ 農業問題
- ・ 県道今吉野甲佐線の交差点
- ・ 町道山出県道線の状況
- ・ 乙女福祉ふれあいセンターの再建

について質問があった。



災害復旧工事が始まった田口橋

一般質問

子ども医療費助成18歳までに引き上げを

町長 今後の検討課題の一つとして受け止める



佐野 安春 議員



子ども医療費助成

問 15歳までの医療費無償化は、この数年で大きく進展し、現在では県内自治体の7割近くまで実施している。これからは、18歳までの助成が増えていくものと思われ、現在、県内山鹿市をはじめ13自治体が実施している。若

い世代層もこのことには強い関心を持ち、居住地の選択の一つとして考えていくものと思われる。町長の就任あいさつにもある切れ目のない支援ということであれば、この15歳までの無償化を18歳までに引き上げることも、強い子育て支援に繋がっていくのではないかと。

奥名町長

子ども医療費の助成事業を実施している多くの市町村は、過疎化によって少子高齢化が進んで、子育て世代の負担を軽減し、少しでも若い世代の定住を図りたいとの考えである。佐町も同様である。仮に高校生まで対象を広げた場合に380万円の歳出が見込まれる。子育て支援には、保育料軽減、定住促進助成金などの取り組みも理解いただきたい。指摘の件は、今後の検

討課題の一つとして受け止める。

芝原団地への液状化被害対策は

問 芝原団地の建物被害対策はどうなっているか。

志戸岡建設課長

復興基金から工事費補助が決定している。工事費に要した額から50万円を控除した額の3分の2が補助になる。工事費の上限が1千万円、最大633万3千円の補助となる。すでに工事を完了されたところも対象。

問 この団地は、民間会社が開発し販売している。売買にあたっては「売渡証書」を渡されている。そこには「もしこの不動産について苦情等あった時は、一切を引受けて解決し、ご迷惑をかせません」とある。宅建取引業法35条では「過去にその土地に液状化被害があった場合や、土地沈下

の可能性があるなど、宅建業者が知り得た情報は説明しなければならぬ」となっている。

被害を受けた団地の方は「売買契約時に土地が砂利採取場であり、地図上では池であったことの説明はなかった。その説明があれば購入することに迷ったに違いない。」と話されている。業者にも何らかの責任はあると考える。町が承認した団地なので町の責任もあると考える。

そうした経過もある中で、是非町が支援に努めることはできないのか。町長は、「住んでよかったと語られるまじぶりに全力で努めている」と述べられている。是非その気持ちで、今回の地震対策で示して頂きたい。

奥名町長 砂利採取場であったことはそうだが、果たしてそれが地震の液状化との因果関係が、その時点で分かっていたかどうかは

定かではない。町としては一生懸命救済措置として何ができるか研究しながら国、県への要望活動をやって、何とか今の段階まで来た。そこまで行きつく過程についても理解いただきたい。



芝原団地

その他に
・子どもの貧困対策
・義務教育給食費への支援
・就学援助金、小学校新入生への入学前支給を
等の質問があった。

一般質問

竜野川の水害対策は

町長 国・県への要望を引き続き強く推進していく



荒田 博 議員

9月議会からの進捗は

問 竜野川、内田川の越水対策の進捗は。

志戸岡建設課長

来年度に内水の調査費を立て具体的に町としてできることを検討したい。県には浚渫等の要望も行い町としては土のう対策などの準備を行う。

奥名町長

大規模な工事が必要であり、それまでには、常日頃から水害情報の収集や土のうとかの準備をしておく必要がある。国土交通省に対し、要望等は例年行っており、引き続き

き強力に推進していきたい。

問 中山間整備の進捗は。

岡本産業振興課長

9月からの動きであるが、協議会の総会をする時間がなかったため、書面議決で議決をしている。事業採択年度を平成31年度に変更し、事業費と事業内容の見直しも指摘されている。

平成31年度採択に向けて準備を平成29年度から新たに進める状況である。

災害復旧について

問 災害査定も終わり、本格的な復旧工事に入ると思うが、災害箇所数と現在の発注状況は。

志戸岡建設課長

熊本地震及び豪雨災害では、町道では87路線、298カ所、河川は23河川の146カ所で被害を受けている。発注状況は道路河川合わせて64件の

工事発注を行っている。県道は7路線、45カ所で被害を受け、その中で

現在も通行止めである御船甲佐線の田口橋、小川嘉島線の府領橋は平成31年3月を完了目標に工事の準備が進められている。

岡本産業振興課長

農道の災害状況は29カ所の延長1223m、現時点で工事発注はしていない。

議員

災害箇所数もかなり多く計画的な復旧工事をお願いしたい。

住宅の復興計画について

ろに建てていいか、宅地にひび割れや擁壁に被害があるが同じところに建てて大丈夫かという相談はある。

岡本産業振興課長

問 3月現在の解体が約7割進んでいるが、住宅の建替え等で問題はないか。町としての取組は。

志戸岡建設課長
住宅の再建を考えている方が、近くに断層が通っているので同じところ

農振農用地の農地に建替える場合、通常の農振農用地の転用申請は厳しいが、今回の震災で農地に宅地を建てる場合、半壊以上の判定を受けていて同じ場所に建てること軽減措置がある。



復旧が待たれる府領橋 (県道小川嘉島線)



農道の被災状況 (芝原地内)

一般質問

町道の復旧工事の状況は

町長 計画を立て重要路線から復旧を進める



西坂 和洋 議員



町道小鹿線付近の災害状況
下は県道三本松甲佐線



公費解体の仮置き場
(西寒野地内)

問 町道の損壊箇所について復旧状況はどうか、仮復旧として大型土のうの箇所が下がってきているところもあり、梅雨前にどういふ対応を考えているのか。

志戸岡建設課長
大型土のう等で仮復旧しているところは、現在、工事発注の準備をしている。また、梅雨前には巡視し、応急処置が必要であれば対応したいと考えている。

問 同じ町道でも危険性の高いところから工事に取いかかっていたかどうか。

奥名町長
復旧工事の発注については、やはり重要路線から進めていくことが非常に肝要じゃないかと思う。

住宅の耐震化対策について
が、整理しながら発注計画を立てきちんとした対応をやっていききたい。

問 住宅耐震化対策において、以前甲佐町では耐震診断及び耐震改修は何世帯の人が受けられたか。

志戸岡建設課長
本町では平成24年度から戸建ての木造住宅の耐震診断、耐震改修に取り組んでおり、平成12年以前に建てられた木造住宅

家屋の解体の進捗状況は
4500棟が対象のうち耐震診断が8件、耐震改修が2件あった。

問 地震、豪雨災害での家屋の解体作業の進捗状況はどのようになっているか。

橋本環境衛生課長
町では被害の程度を全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊に区分しており、全壊と判定された建物の棟数は、2月末現在で住

ふるさと納税について
家106棟あり、85棟の解体申請を受付けし、79棟が解体済みとなっている。

問 これまで平成28年度でいただいた寄付金額と件数はどのくらいか。
また、返礼品にブランド品とかを考え、もっとふるさと納税を活用できるようににならないのか。

内山総務課長

使途が4種類あり、ふるさとの景観保全に8件35万1千円、安全安心なまちづくりに9件45万円、子どもの育成に5件13万4千円、指定なしに59件48万2千7百円、合計81件の69万6千8百円(1月時点)となる。

4月から、インターネットを通じて寄付を行い、返礼品の数を42品目とし、できるだけ多くの方に寄付をいただこうと取り組んでいきたい。

甲佐中学校生徒による
子ども議会の風景



第8回 子ども議会 (平成29年2月23日)

町の活性化について

① 企業誘致で活性化



① おやま るか 議員
小山 瑠華 (2年2組)

を考え、町民のみならず、が快適に暮らせるような街づくりに取り組んでいきたいと考えております。白旗・乙女に限らず、高齢者を含め「買い物弱者」と言われる方のため移動販売車の導入や配食サービスなど検討していかねければならない状況であると考えております。

② 町イベントでの部活動参加の大会を



② かわさき あい 議員
川崎 愛莉 (2年2組)

岡本産業振興課長 現時点で甲佐町に新たな出店・進出したいという相談はあっております。町としても、企業誘致に向けた候補地の選定や、インフラ整備、規制緩和、優遇(支援)制度の充実

問 町のイベントに併せて部活動などの小学生や中学生の大会を開催することはできませんか。また、そのような大会を開催するための体育館やグラウンドなどの運動施設を建設する予定はあ

りますか。

吉岡社会教育課長

現在、甲佐町でも「あゆまつり」のイベントに併せた少年野球や剣道の招待試合が行われております。

施設整備の面では、安津橋周辺の河川敷にテニスコート、ソフトボール場、サッカー場と野球場を計画しており、その外周にはウォーキングやランニングができる周回コースも計画しています。完成後は是非、多くの皆さんにスポーツの振興や様々なイベント開催などに活用していただきたいと思っております。

問 10マイルロードレースには県外の有力選手も参加しています。それらの参加者が甲佐町に宿泊すれば、飲食店や弁当屋など町にお金を使ってもらうことにつながると思っています。そこで、甲佐町に宿泊施設を建設する予定はありますか。

佐町を訪れてくれるようになればおのずと宿泊施設が必要となり整備が図れるようになると思っております。

④ もっと中学生が意見を言える場を



④ きたがき みずき 議員
北崎 瑞紀 (2年1組)

問 甲佐町では子ども議会でも中学生が町政にふれる機会があり、とても有意義だと思います。しかし、普段の生活の中では、なかなか町政にふれる機会が少なく感じています。甲佐町の将来の発展に向けて、中学生の目線で意見を言えるような場や機会を設けてもらうことはできませんか。



③ たかざき りょうた 議員
高崎 僚太 (1年2組)

③ 宿泊設備の整備を

また、将来的には、おいしい農作物を提供するお店や、農作業体験なども考えていきたいと思っております。現在のところ宿泊施設の計画はありませんが、官民一体となって、魅力ある甲佐町を創り上げていくことで多くの人が甲

奥名町長

中学生の皆さんの質問や意見を聴く機会としては、中学校との行事調整が必要となり、すぐに実現するには難しい面があると考えますので、できるだけ多くの生徒さんの意見を集約していただいたうえで、この子ども議会の場を活用していただくとともに、インターネットの利用が可能な生徒さんは、町のホームページにも意見や要望を寄せていただきたいと思います。

このように皆さん方から直接質問や意見を言える機会を設けてほしいと希望されることは、町に対する皆さんの関心の高さを表れであり、大変うれしいことでありますので、できる限り多くの質問や意見に答えられるようにしていきたいと思っております。



街灯の設置について

⑤ 今後も街灯設置を



⑤ 谷頭 美麗 議員 (2年1組)

問 毎年、子ども議会でもお願いをしており、年々街灯の数も増えてきてとても感謝しています。今後も引き続き設置をお願いします。

現在「防犯灯整備計画5カ年計画」にある設置計画の説明をして頂けませんか。

清水くらし安全推進室長

整備計画の基本的な考え方としては、特に児童・生徒の通学時の安全・安心を確保することを最優先としています。

平成28年度から平成32年度まで、通学路総延長32・1kmに、防犯灯総計

341基を設置する予定としております。

本年度は、国道443号線、県道三本松甲佐線、県道嘉島甲佐線、町道松ヶ崎妙見谷線に、60基を設置することとしております。

皆さんが安心して通学ができますように、今後とも、計画的に防犯灯の整備促進に努めてまいります。

交通関係について

⑥ カーブミラー等の設置について



⑥ 渡邊 伊吹 議員 (1年2組)

問 甲佐保育園の付近や中早川など交差点で見通しが悪く、きちんと安全

確認ができるようカーブミラーを設置することはできませんか。

また、乙女小の先の五差路は車両の進行方法も様々で、横断歩道はありますが、横断するのが困難な場合があります。安全な横断のため信号を設置する予定はありますか。

志戸岡建設課長

カーブミラー設置については、見通しが悪い箇所には調査をしまして設置を行っています。甲佐保育園への出入り口交差点では仁田子方面から歩道を通行するとき見通しが悪いので、歩道の中に設置できるかの検討を行い対策を考えたいと思います。

また、中早川の交差点は現在カーブミラーが設置してありますが、見にくいようであればミラーの位置の調整や移設をするなど安全確認ができるようにしたいと思えます。

清水くらし安全推進室長

信号機設置には、まず地域や学校、教育委員会、PTAなどからの設置要望を受け、設置要望書を管轄の警察署へ提出し、諸手続きを経て、最終的に県公安委員会において、意思決定がなされ、信号機の設置となります。

しかし、信号機設置には大きな予算も伴い、かなり厳しいのが実情です。乙女小学校先の5差路の交差点につきましては、これまで、信号機の設置要望があつておりませんのでいまのところ信号機設置の予定はありません。

地域や学校等からの設置要望があれば、これを踏まえ、町として警察当局に設置要望を行いたいと思えます。

⑦ 通学路の整備について



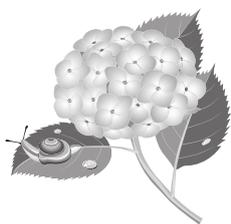
⑦ 馬場 悠雅 議員 (2年1組)

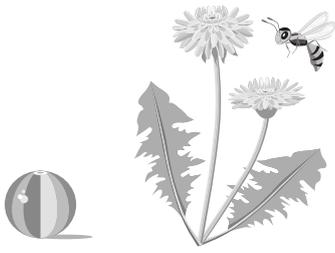
問 乙女橋からあゆの里までの道は車の離合も困難で、自転車を通るときは危険を感じることもあります。道を広くする予定はありますか。

また、草が伸びていて通学の妨げになっている場所があります。草刈りの実施箇所や実施回数についてどのように決定しているのか説明して頂けませんか。

志戸岡建設課長

県道宇土甲佐線の乙女橋からあゆの里までの区間については道路幅員が狭いため、道路管理者である県に対して改良工事の要望を出しております。





たが、これまでの要望が
実り、平成29年度には改
良工事が行われ、年度内
には完成する予定となっ
ております。

通学路の草刈りについ
て町道は通学路を中心
に草の伸び方の状況を見
て年間3回から4回の草
刈りを行っています。

県道については、芝原
から乙女橋までの嘉島甲
佐線、乙女橋から塔ノ木
までの宇土甲佐線、国道
443号線は年2回実施
その他の県道については
年1回の実施をされてお
ります。

県道で通学に支障があ
る場合はその都度、町か
ら草刈りのお願いしてい
きたいと思っております。

⑧甲佐高校裏の交通規制について



ふくしま かなで 議員
⑧福島 奏 (2年1組)

最も効果的な手段は、
交通の指導取締りであり、
今後も引き続き、警察に
よる指導取締りの徹底を
お願いするとともに、併
せて、当該道路の通行禁
止規制の周知を図るなど、
皆さんが安全に通学でき
ますよう努めてまいりた
いと思っております。

震災復興フェスタ

⑨白旗地区の道路、歩道の舗装フェスタ



どうぞの かずき 議員
⑨堂園 和生 (2年2組)

問 熊本地震により、道
路や歩道に段差や亀裂が
入り、車両が通行しにく
くなっています。白旗地
区では通学路である道路
や歩道に亀裂などにより

凹凸があり、自転車での
通行が危険な場所がたく
さんあります。早期の舗
装をお願いすることはで
きませんか。

志戸岡建設課長

今回の熊本地震で白旗
地区の歩道が被災して通
行に支障をきたしていま
す。白旗地区の芝原区域
については、現在復旧工
事がされており、

奥名町長

田口橋については、昨
年の熊本地震で被災し全
面通行止めが続いており、
地域の皆様には、大変ご
不便をおかけしておりま
す。

⑩田口橋の復旧について



わたなべ ひかる 議員
⑩渡邊 光 (2年1組)

町からも田口橋の早期
の完成に向け、管理者で
ある県と協議を重ね一体
となって取り組んでいま
す。

問 熊本地震で被災して
から田口橋は通行止めの
状態が続いています。迂
回してくる車により乙女
橋の交通量が増え、登下
校の時も危険を感じるこ
とが多くなりました。交
通量を緩和させる意味で
も、田口橋の一日も早い
復旧を要望します。

⑪災害発生時の対応フェスタ



おおた たつや 議員
⑪太田 達也 (2年2組)

町も県と協力をしまし
て早期完成に向けて努め
ていきたいと思えます。

問 地震で経験して感じ
たことがあります。それ
は災害時の町の取り組み
です。支援物資の配布で
は、本当に被害の大き
かった所には届いていま
せんでした。
被害の大きさは大きい
ところもあればそうでな
いところもあります。だ
からお年寄りから小さい
子どもまで少しでも安心

できるように町での取り組み方を考えてほしいと思います。今回の震災で緊急の時に行う対策として町で決まったことなどあります。

師富副町長

支援物資が本当に被害が大きかった所に届かなかったという指摘をいただきました。

町としては、県の災害対策本部へ支援要請を行うなどにより物資の確保に努め、支援物資が町に届いた後には、区長さん、消防団員の方々などのご協力をいただきながら、必要とされる方に、できるだけ確実に届くように一生懸命に努めてきたという事は、ご理解いただきたいと思います。

一般的に、防災の基本は、自分の身は自分で守るといふ、いわゆる「自助」だと言われます。その次に、個人の力では限界があり、近所の方や住んでおられる地域の人たちと、自分たちの地域は

自分たちで守るといふ「共助」です。自主防災組織もこれに当たります。そのうえで、これでも足りない部分を町などの行政機関が補うという「公助」の考えを持ち、様々な災害に備えることが必要だと言われております。

町では、災害時の町の取り組み・対策の基本となるものとして、「甲佐町地域防災計画」及び「甲佐町水防計画」を策定しております。

この計画は、災害対策本部の設置に関することや、災害対策班の事務分掌に関することが主な内容であります。

町民の方が安心して暮らせますように、今回の甚大な災害を踏まえて、更に災害に強い・安全で安心な町づくりに努めてまいりたいと考えております。

⑫災害時の物資の備蓄について



しげなが たいき 議員
⑫重永 泰希 (1年1組)

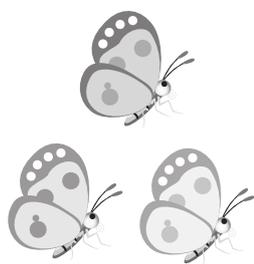
問 熊本地震の際、支援物資が届くまで避難所には食料や水、毛布などの物資が不足していました。

災害時に備えて普段から毛布や電灯、水や食料といった備蓄はされているのでしょうか。また、それらはどこに備蓄されているのか教えて頂きたいと思っております。

清水くらし安全推進室長

災害に備えて、普段から毛布や水、食料等の備蓄はしておりますでしょうか。

毛布や飲料水、その他日用品等の生活必需品につきましては、NPO法人コメリ災害対策セン



ターと平成23年7月に、「大規模災害時の物資供給の協定」を締結しており、この協定によりまして、4月14日から16日にかけて毛布488枚、飲料水2ℓボトル504本、500ml 1008本が届いております。

しかし、発災直後は、これだけでは十分ではなかったことは事実でありましたが、発災の3〜4日後には、対応が追いつかないほど、支援物資が搬入されております。

今後、災害時の物資、特に食料等につきましては、JAや町内飲食関係業者等のご支援、ご協力を受け確保したいと考えております。

備蓄場所については、検討していく必要があります。

※当日議長を務めていただきましたお二人は一般質問を行っていませんので、感想文(原文のまま)を掲載いたします。

前半 議長



ふくしま まい 議員
福島 麻衣 (2年1組)

さつているということですから。

色々な方々の答弁を聞いていると町民の方が安心して暮らせるように、そしてみなさんが安全に通学できるようなこと、たくさん私たちのことを考えてくださっていました。

だから、これからはそのように常に自分たちのことを考えてくださっている方々に感謝をしながら生活していこうと思えました。

後半 議長



つばき るか 議員
椿 留加 (2年2組)

私は、今日子ども議会

<第8回子ども議会>



町長、議長たちと記念撮影

に参加して思ったことが二つあります。
一つ目は私たちの意見や質問に対して町長や副町長、建設課長など他にも多くの皆様が丁寧に分かるまで教えて下さったり、質問に答えて下さったりした事です。皆様は本当に丁寧な対応で私たちが理解できるまで教えて下さったので感謝の気持ちでいっぱいです。
二つ目は将来私たちが甲佐町をになっていく立場になった時のアドバイスを真剣に言ってくさ

たことに感動しました。アドバイスをもらったからには自分達の方で将来の甲佐町をになっていこうと思いました。これからの生活で私は誰にでも丁寧な対応をする事、自分の考えで自分の力で動く事を気をつけて過さそうと思いました。丁寧な対応をする事で、みんなに信頼されその行動に自信をもてて、自分の力で行動できると思うので関連しているこの二つの事はしっかり守っていきたいと思います。

常任委員会・議会運営委員会等の各委員名簿

委員会名	総務文教 常任委員会	産業厚生 常任委員会	議会運営 委員会	議会広報編集 特別委員会	政治倫理 審査会
委員長	本田 新	中村 幸男	宮川 安明	荒田 博	本田 新
副委員長	福田 謙二	宮川 安明	中村 幸男	宮本 修治	中村 幸男
委員	本郷 昭宣	渡邊 俊一	本田 新	福田 謙二	渡邊 俊一
	西坂 和洋	緒方 哲哉	福田 謙二	佐野 安春	本郷 昭宣
	荒田 博	宮本 修治		山内 亮一	緒方 哲哉
	佐野 安春	山内 亮一			宮川 安明

※議会広報編集特別委員会の任期は原則4年としている。

〔常任委員会等の各委員の選任〕
常任委員会（総務文教・産業厚生）、議会運営委員会及び政治倫理審査会の各委員が任期の2年を迎え、平成29年3月定例会において選任されました。

常任委員会とは・・・

本会議のほかに、町の仕事を総務文教部門（総務課・企画課・教育委員会などの所管事項）と産業厚生部門（農政課・建設課・福祉課などの所管事項）に分け議案・請願などについて詳しく調査や審査を行うため常設する委員会です。

議会運営委員会とは・・・

定例会の日程を決めるなど、円滑な議会の運営を行うため、議会運営の全般について協議し、意見などの調整を図る委員会です。

政治倫理審査会とは・・・

議員は町民全体の利益の実現を図り、町民の支持と信頼を培うよう努めなければなりません。また、地位を利用して、町が行う許認可や請負等に関し、特定の企業、個人等のために有利な取り計らいをしてはならない等の遵守のため審査会を設置しています。

議会広報編集特別委員会とは・・・

議会だより「清流」の円滑な発行に伴う編集方法等の総合的な調査研究を行うための委員会です。

「人命の尊重」を第一に

岩下二区 野田 孝

昨年の記録的豪雨から早一年が過ぎようとしていますが、町内では56軒が床上浸水に遭い、270軒近い家屋が浸水被害に見舞われました。そして不幸にも一人の尊い命が失われました。私の家も町中を流れる大井手川の氾濫により、床上40センチの浸水となり、今もその痕跡が家内に残っています。

気象庁によると時間雨量50ミリを超える大雨の発生件数が全国1300カ所に設置されているアメダス（甲佐町にも設置）のデータで、1976年からの10年間とその20年後の2005年からの10年間とでは3割以上も増えるという驚くべき増加傾向にあります。

こうした自然災害に対し、国は6年前の東日本大震災の教訓から国土強靱化政策^{きょうじんか}という、それまでの道路や橋をつくる単なる公共事業から、災害対策に重点を置いた公共投資へと方向転換しています。その基本的な考え方の第一に挙げられているのが「人命の尊重」です。

地震のように予測不能な自然災害と異なり、水害は事前の治水対策によって回避できるものでもあります。町内を流れる緑川の度重なる氾濫に対して、近世の時の為政者は本格的な治水対策を講じるようになりましたが、それは現在国が進めている強靱化政策の「近世版」とも言えるものです。

甲佐町の公共事業も昨年の豪雨災害を教訓として「人命の尊重」を第一にしたものへ転換してもらいたいと願っています。

平成29年第1回臨時会

(3/29)

議案第22号

工事請負契約の締結について

熊本地震及び豪雨による災害復旧工事に係る安平地内の橋梁1カ所及び河川3カ所の契約金額8987万7600円とする請負契約を原案のとおり可決した。



災害復旧工事予定の御手洗橋（安平地内）

※平成29年第2回（6月）定例会は、6月9日開会の予定です。

編集後記

昨年の熊本地震により乙女小学校は、校舎が被害に遭い、子どもたちは甲佐中学校で学習することになった。復旧工事も終わり11カ月ぶりに自分たちの学校に戻ることができ、無事に卒業式ができた。

この間、中学生との共同生活により制限された学校生活もあったかと思うが、小中一貫教育が実践できた部分があったのではないだろうか。

この地震から学んだことや貴重な経験を忘れず新たな学校生活を送ってほしいと思う。

（福田）



議会広報編集特別委員会

委員長 荒田 博
副委員長 宮本 修
委員 福田 謙二
委員 佐野 安春
委員 山内 亮一